海の見える学校

令和６年１月１６日／発行者：松本　直道（長崎市立畝刈小学校校長）

ＡＺ教育　～一人一人の子供を大切にする学校～

もちつき会～願いをこめて～

みなさん、明けましておめでとうございます。昨年のことになりますが、12月９日（土）に畝刈小学校区育成協・子供を守るネットワーク主催の「もちつき会」が行われました。

コロナ禍のため、3年間行うことのできなかった「もちつき会」ですが、伝統を復活できて大変ありがたかったです。地域の自治会や老人会の方々、育友会の方々もたくさん応援に見えられ、総勢１００名は優に超える大にぎわいとなりました。子供たちは見様見真似で餅をつく体験をしたり、つきたての餅をほおばったり、お雑煮を食べたりして大いに楽しんでいました。

臼と杵でついて作った餅は本当においしく、それが無料で好きなだけ食べられるのですから、こんないい機会はありません。

学校にも「鏡餅」を作っていただき、職員室前に飾りました。同じく育成協の役員の方に「門松」も作っていただきました。立派な鏡餅や門松は、令和6年も畝刈小学校の子供たちが健やかに育ってほしいとの願いがこめられています。

鏡餅や門松は終業式の後に飾られたので、子供たちが見たのは始業式の日になりました。地域の方々の思いをうけて、きっと「健やか」な畝刈っ子になるように頑張ってくれるものと期待します。

ピグマリオン効果というのですが、「健やかに」「仲良しに」「明るく楽しく」と何度も何度も繰り返し思いを伝えることが、子供に伝わり、子供がいつのまにか自然とそのように変わっていきます。

このような地域を巻き込んだ行事を通して、子供は豊かに育っていきます。地域の皆様、ご参加ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

本気で挨拶返事日本一の畝刈小学校にしよう

１月9日（火）3学期のスタートです。長い2学期と違って、あっという間に過ぎる短い3学期です。始業式では、「本気で挨拶返事日本一」をめざそうと話しました。

畝刈小学校の子供たちは、地域の方々からよく「地域の中でいつも元気に挨拶してくれてうれしいです」という言葉をよく聞くほど、頑張っている子が多いです。

しかし、一方で「朝から元気が出ない」子がかなりの割合でいることも事実です。「おはようございます」の朝の挨拶の声が出ない子や、こちらが挨拶しても素通りしていく子もいます。

朝から挨拶ができない子の原因として、

①家庭内で挨拶をする習慣がない。（ご両親が朝あわただしくて挨拶どころではないのかもしれません）

②極度の恥ずかしがり屋で挨拶の言葉を言う勇気がない。（対人恐怖症など何らかの障害がある場合も考えられます。）

③朝ぎりぎりまで寝ていて、登校時もまだ寝起きのような状態、朝食も食べる時間がなく朝方は元気がでない。（夜更かし朝寝坊で睡眠不足の可能性があります。）

④低血圧など朝がどうしても弱く、頑張って登校だけはしている。（「起立性調節障害」という医師の診断を受けている子もいます。）

「挨拶を頑張ろう」と指導や支援を重ねることはもちろん取り組んでいきますが、それだけでは①～④の問題を解決することはできません。

保護者の皆様に、子供たちの生活改善のため以下のことをお願いいたします。

〇早寝（10時までには就寝・８時間以上の睡眠）早起きを実践させる。

〇朝食を必ず食べさせる。

〇家庭内での挨拶を習慣化する。

日々の生活習慣の改善によって得られる健康と活力は子供たちの将来に大きく影響します。

何らかの病気や心理的障害で朝が弱い場合は、しかるべき病院や関係施設でしっかり治療や療育を受けることが大切です。その上で担任と情報を共有し、支援の方向性をさぐっていく必要があります。

家庭内での生活改善や挨拶の習慣化は言うは易くで、実際は難しいことも多いと思います。（私も子育ての中で苦い経験があります。）学校としても一緒に解決していきますので、ぜひご相談ください。生活改善による効果は、健康だけでなく学力にも大きく影響します。家庭と学校が力を合わせて共に子供の「健やかに生きる力」を伸ばしていきましょう。

「挨拶返事日本一」は長く歴史のある畝刈小学校の「そろえる活動」第一のスローガンです。お題目ではなく「本気」で「日本一」を目指す3学期にしたいと考えています。

＜大谷選手ありがとう！＞

報道等でご存じの方も多いと思いますが、ロサンジェルスドジャースの大谷翔平選手から、本校にもサイン入りのグローブが届きました。

全国の小学校すべてに６万個のグローブを無償で寄付するというのですから、太っ腹もいいところです。子供たちに野球に親しんでほしい、大きな夢を持ってほしい、夢に向かって進んでほしいという大谷選手の思いが伝わってくるようです。

子供たちには、始業式の翌日から各学級を回覧する形で見て触ってもらっています。回ってきたグローブを見た子供たちは大騒ぎでした。大谷選手の思いのつまったグローブを手にした子供たちは、きっと何かを感じ取ったことと思います。

子供たちに回覧した後は校長室に保管し、必要に応じて活用しようと思っています。興味があって、見たいと思われる保護者の方はどうぞ校長室を訪ねてくださいね。